

日本救急医療財団の活動報告

橋本 昌男 事務局長

2022年12月中旬から2023年2月上旬までの財団の活動について報告します。

総務部門に関する報告

平田 真教 総務部

1. 救急蘇生法普及推進事業委員会開催について

令和5年1月17日(火)15時00分より財団会議室において「救急蘇生法普及推進事業委員会」を開催しました。議題として(1)非医療従事者によるAEDを含む救急蘇生法講習事業に係る事業者の認定申請書内容の審査(更新)と(2)非医療従事者によるAEDを含む救急蘇生法講習事業に係る事業者の認定基準と手続きの見直しについて検討し、一般社団法人日本救急蘇生普及協会の救急蘇生法講習事業者としての認定の承認と、認定基準と手続きについて必要な見直しを行いました。

研修研究部門に関する報告

風間 和則 研修研究部

1. 令和4年度救急医療業務実地修練等研修事業について

○ 救急救命士養成所専任教員講習会

令和4年12月19日(月)から12月23日(金)までの5日間、オンライン(Zoom)による救急救命士養成所専任教員講習会を実施しました。

受講対象者は、(1)救急救命士の免許を有する者、(2)本講習会修了後も養成所の専任教員として救急救命士の教育に従事する者及び将来従事しようとする者、であり全国から28名(修了者27名)の受講者が参加されました。

研修内容は、①救急救命士の活動に必要な関係法規と救急救命士の処置内容の拡大の今後、②病院前医療MC体制の現状と将来像(講義・WS)、③救急救命士指導者にも求められる素養と知識、④救急救命士に必要な教育技法(養成教育と成人教育の差異)、⑤救急救命士教育現場に必要なプレゼンテーション技法(WS)、⑥救急救命士養成施設教育体制の現状と今後の課題、⑦病院前医療体制充実のための課題の検討(WS)、⑧救急救命士に必要な研究方法の理解と種々の統計解析法の理解(講義・WS)、⑨感染症対策について(新型コロナウイルス感染症対策を含む)(講義)、⑩救急救命士に必要な教育内容とカリキュラム編成について(講義)、⑪救急救命士に必要な特定行為プロトコールを実技で指導するための基礎知識(WS)、⑫高度シミュレーターを使用した特定行為プロトコールを検討する(WS)、について講義及びワークショップ(WS)を行い、ワークショップ

においては、Zoom のブレイクアウト機能を使用し、活発な意見交換と受講者自身による体験を交えた議論により受講者の相互間での連帯感が深められ大変有意義な講習会となりました。

なお、研修実施にあたっては事前に「Zoom 操作マニュアル（受講者用）令和 4 年度版」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せにも対応できる体制を整えたことにより、支障なく研修を終了しました。

○ 病院前医療体制における救急救命士業務実地修練 ※令和 4 年度研修名及び対象者変更

令和 5 年 1 月 9 日（月）から 1 月 13 日（金）までの 5 日間、オンライン（Zoom）による病院前医療体制における救急救命士業務実地修練を開催しました。

受講対象者は、(1) 消防機関等において、現に救急救命士として救急業務に従事している者、(2) 現に救急医療に従事している者であって、救急救命士免許を取得している者、であり全国から受講定員（50 名）を超える 61 名が参加されました。

研修プログラムでは、①救急救命士制度の将来像（講義・WS）、②周産期、母子救急疾患（講義）、③意識障害、脳卒中（講義）、④症状・徴候 観察のコツ（講義、WS）、⑤心肺停止前の特定行為について（講義・WS）、⑥精神科的問題を持つ傷病者へのアプローチ（WS）、⑦呼吸不全、重症喘息（講義）、⑧循環不全、急性冠症候群（講義）、⑨小児救急疾患（講義）、⑩外傷、熱傷、電撃傷（講義）、⑪急性中毒、溺水、熱中症、低体温（講義）、⑫安全な救急業務管理（危機管理）（WS）、⑬MC にかかる諸業務の管理・運営（WS）、⑭緊急度判定の理論と実践（WS）、を実施し、また、病院前医療体制における指導医等研修（上級者）受講者と合同で開催した研修では⑮我が国の救急医療体制と病院前医療体制※現状と課題を含む（講義）、⑯通信指令業務について（講義）、⑰通信指令業務の事後検証について（講義）、⑱局地災害における消防活動（講義）、⑲局地災害時の MC に関する問題の理解（WS）を実施し、WS においては、Zoom のブレイクアウト機能を使用し、10 班に分かれたディスカッションでは、活発な意見交換と受講者自身による体験を通して受講者相互間での連帯感が深められ、特に病院前医療体制における指導医等研修（上級者）受講者と合同で行われた講義・WS では救急救命士と医師による活発な意見交換がなされ、大変有意義な研修会となりました。

なお、開催にあたっては事前に「Zoom 操作マニュアル（受講者用）令和 4 年度版」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に研修を終了しました。

○ 病院前医療体制における指導医等研修（上級者）

令和 5 年 1 月 11 日（水）から 1 月 13 日（金）までの 3 日間、オンライン（Zoom）による病院前医療体制における指導医等研修（上級者）を実施しました。

受講対象者は、5 年以上の救急臨床歴があり、(1) 救急科専門医やそれと同等の資格を

有する医師、(2) 2年以上の地域メディカルコントロール担当医として経験を積んだ医師、
(3) 地域においてBLS、ACLS、JPTEC、JATECなどの講習会や救急隊教育
において指導歴がある医師、に全て該当する医師であり、全国から受講定員(50名)を超
える53名(修了者51名)が参加されました。

研修プログラムでは、①救急に関する消防の取り組み(講義)、②「搬送と受け入れ実施
基準と緊急度判定(WS)、③救急医療体制にかかる調整(WS)、④救急医療体制にかかる
調整(高齢者への対応)(WS)、⑤MC及び指導医の今後の展開(WS)、⑥生涯教育システ
ムの構築(講義)、⑦救急救命士等に対する教育(講義、WS)を実施し、また、救急救命
士業務実地修練受講者と合同で開催した研修では⑧我が国の救急医療体制と病院前医療体
制※現状と課題を含む(講義)、⑨通信指令業務について(講義)、⑩通信指令業務の事後
検証について(講義)、⑪局地災害における消防活動(講義)、⑫局地災害時のMCに関す
る問題の理解(WS)を実施し、WSにおいては、Zoomのブレイクアウト機能を使用し、
10班に分かれたディスカッションでは、活発な意見交換と受講者自身による体験を通して
受講者相互間での連帯感が深められ、特に病院前医療体制における救急救命士業務実地修
練受講者と合同で行われた講義・WSでは医師と救急救命士による活発な意見交換がなさ
れ、大変有意義な研修会となりました。

なお、開催にあたっては事前に「Zoom操作マニュアル(受講者用)令和4年度版」等
を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講
者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に研修を終了しまし
た。

○ 看護師救急医療業務実地修練

看護師救急医療業務実地修練につきましては、令和5年2月6日(月)から2月10日
(金)まで合同研修(5日間)をオンライン(Zoom)により実施しました。

(施設研修については令和5年2月15日(水)から17日(金)3日間実施予定)

受講対象者は、救命救急センター又はそれと同等の施設において、2年以上救急部門、
集中治療室(ICU等)などで実務経験がある者等であり、全国から受講定員(70名)を超
える72名が参加されました。

合同研修プログラムでは、①救急医療の現状(講義)、②小児医療(講義)、③災害医療
概論(講義)、④災害医療の現状・災害トリアージ・DMAT(WS)、⑤災害看護学概論(講
義)、⑥高齢者医療(講義)、⑦ACS(講義)、⑧臓器不全・血液浄化法(講義)、⑨グリー
フケアとDMORT(講義)、⑩脳卒中(ISLS、PSLS)(講義)、⑪自施設の救急医療の課
題検討 私の施設の救急で困っていること(WS)、⑫ドクターヘリにおけるフライトナ
ース(講義)、⑬急性中毒(講義)、⑭呼吸不全(講義)、⑮精神病状を持つ患者へのアプ
ローチ(講義)、⑯熱傷(講義)、⑰脳死と臓器移植(講義)、⑱循環不全(講義)、⑲ERの現
状(講義)、⑳救急における安全管理(感染管理も含む)(講義)、㉑JNTECの実技(WS)、
㉒意識障害(ACEC、PCEC)(講義・WS)、㉓院内急変対応(講義)、㉔救急患者への対

応と緊急度判定（講義）、㉕救急（院内）トリアージの実際（WS）を実施し、研修プログラムを通して救急医療の最新情報等を学ぶとともに、WSではZoomのブレイクアウト機能を使用した各班に分かれたディスカッションでは受講者相互の活発な情報交換により、連帯感が深められました。

また、今年度から新たに医師救急医療業務実地修練受講者、医療機関に所属する救急救命士業務実地修練受講者との合同研修を実施し、㉖救急外来、初療室におけるチーム医療（講義、WS）、についてグループディスカッション（31班）を行うなど医師、看護師、救命救急士による活発な意見交換がなされ、大変有意義な合同研修となりました。

なお、施設研修（令和5年2月15日（水）から17日（金）3日間実施予定）については、例年どおり受講者が施設研修病院（（高度）救命救急センター）にて3日間の研修を受講する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も昨年度同様、受講者と施設研修病院間をオンライン（Zoom）で結んで開催する予定です。

実施にあたっては、施設研修病院（15病院）のご協力のもと受講者を3班に分け各班6病院（AM、PM各1病院×3日間）を受講する施設研修プログラムにより、各病院からレクチャー及びディスカッションを予定しています。

開催にあたっては事前に「Zoom操作マニュアル（受講者用）令和4年度版」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に合同研修を終了しました。

○ 医療機関に所属する救急救命士業務実地修練 ※令和4年度より新規研修

医療機関に所属する救急救命士業務実地修練につきましては、令和5年2月7日（火）から2月9日（木）まで合同研修（3日間）をオンライン（Zoom）により実施しました。（施設研修については令和5年2月13日（月）から14日（火）2日間実施予定）

受講対象者は、救急救命士免許を取得している者であって、医療機関において、現に救急救命士として救急業務に従事している者又はしようとしている者であり、全国から受講定員（50名）を超える53名が参加されました。

合同研修プログラムでは、①救急救命士制度の現状と課題※直近の救急救命士法の改正の内容を含む（講義）、②救急外来、初療室における医療安全（講義、WS）、③救急外来、初療室における感染対策（新型コロナウイルス感染症対策を含む）（講義、WS）、④局地災害時の対応（講義、WS）、⑤研鑽が必要な救急救命措置（特定行為含む）（講義）、⑥救急外来、初療室で実施する救急救命措置（講義）、⑦救急医療提供体制における役割（消防機関）（講義）、⑧救急医療提供体制における役割（通信指令業務）（講義）、⑨転院搬送における調整と搬送（講義、WS）、⑩生涯教育システム（講義、WS）、⑪救急救命士制度の将来像と課題（WS）、を実施し、研修プログラムを通して救急医療の最新情報等を学ぶとともに、WSではZoomのブレイクアウト機能により各班に分かれたディスカッションを行い、受講者相互の活発な情報交換が行われました。

また、本研修においては医師救急医療業務実地修練受講者、看護師救急医療業務実地修練受講者との合同研修を実施し、⑫救急外来、初療室におけるチーム医療（講義、WS）、についてグループディスカッション（31班）を行うなど医師、看護師、救命救急士による活発な意見交換がなされ、大変有意義な合同研修となりました。

なお、施設研修（令和5年2月13日（月）から14日（火）2日間実施予定）については、受講者が施設研修病院（救急救命士が所属する救急医療機関）にて2日間の研修を受講する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、受講者と施設研修病院間をオンライン（Zoom）で結んで開催する予定です。

実施にあたっては、施設研修病院（9病院）のご協力のもと受講者を3班に分け各班4病院（AM、PM各1病院×2日間）を受講する施設研修プログラムにより、各病院からレクチャー及びディスカッションを予定しています。

開催にあたっては事前に「Zoom操作マニュアル（受講者用）令和4年度版」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に合同研修を終了しました。

○ 医師救急医療業務実地修練

医師救急医療業務実地修練につきましては、令和5年2月8日（水）から2月10日（金）まで合同研修（3日間）をオンライン（Zoom）により実施しました。

（施設研修については令和5年2月27日（月）から28日（火）2日間実施予定）

受講対象者は、二次・三次救急医療施設等に勤務し、救急の第一線で活動している者（日本救急医学会救急科専門医またはそれと同等の知識、技術を有する者）であり、全国から31名の受講者が参加されました。

合同研修プログラムでは、①救急医療の法的問題（講義、WS）、②地域において救急医療施設が果たす役割（MCを含む）に関する事（講義、WS）、③災害・テロ対策に関する事（WS）、④小児救急医療（講義）、⑤救急医療と感染症情報（講義）、⑥救急医療における病院前医療体制（講義）、⑦救急部門の管理運営に関する事（WS）、を実施し、研修プログラムを通して救急医療の最新情報等を学ぶとともに、WSではZoomのブレイクアウト機能により各班に分かれたディスカッションを行い、受講者相互の活発な情報交換が行われました。

また、今年度から新たに看護師救急医療業務実地修練受講者、医療機関に所属する救急救命士業務実地修練受講者との合同研修を実施し、⑧救急外来、初療室におけるチーム医療（講義、WS）、についてグループディスカッション（31班）を行うなど医師、看護師、救命救急士による活発な意見交換がなされ、大変有意義な合同研修となりました。

なお、施設研修（令和5年2月27日（月）から28日（火）2日間実施予定）については、例年どおり受講者が施設研修病院（（高度）救命救急センター）にて2日間の研修を受講する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も昨年度同様、受

講者と施設研修病院間をオンライン（Zoom）で結んで開催する予定です。

実施にあたっては、施設研修病院（13 病院）のご協力のもと受講者を 3 班に分け各班 4 病院（AM、PM 各 1 病院×2 日間）を受講する施設研修プログラムにより、各病院からレクチャー及びディスカッションを予定しています。

開催にあたっては事前に「Zoom 操作マニュアル（受講者用）令和 4 年度版」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に合同研修を終了しました。